

生活貯水池整備事業

以布利川ダム



高 知 県

事業の概要

以布利川は高知県西南部に位置し、その源を標高307mの鷹取山に発して以布利地先で太平洋に注ぐ流域面積3.14km²、流路延長2.5kmの二級河川です。

流域は、年間降雨量が約3,000mmという高知県内でも有数の多雨地帯で、特に夏期に集中して降る傾向にあり、これまでたびたび浸水被害を受けてきました。

また、以布利川は流域内の農地に対する水源や簡易水道として利用されていますが、夏期には取水可能量が限度に達しています。さらに、土佐清水市街地には都市計画区画整理事業として団地造成が進められており、新たな水源を必要としています。

このように、以布利川では抜本的な治水対策、ならびに安定した水源の確保が強く望まれており、上流域の広畑地先にダム建設が決定されました。

以布利ダムは、昭和62年度から県単独で予備調査を行い、平成元年度には小規模生活ダム建設事業(現在の生活貯水池整備事業)に採択され、調査・設計が進められてきました。



平成13年9月豪雨



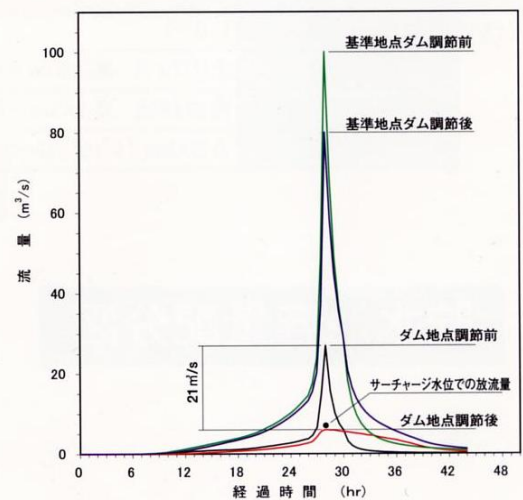
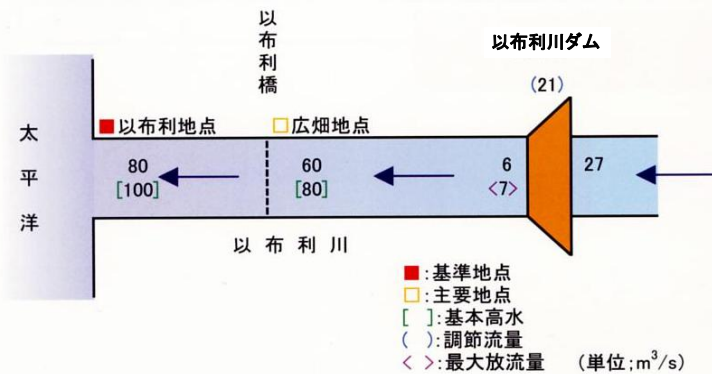
流域一覽図

ダムの目的

以布利川ダムは、高さ30.5m、堤頂長93.0m、総貯水容量352,000m³、有効貯水容量333,000m³の重力式コンクリートのダムで、①洪水調節、②既得取水の安定供給、河川環境の保全、③水道用水の補給を目的としています。

1. 洪水調節

ダム地点の計画高水流量27m³/s(年超過確率1/50)のうち21m³/sを貯水池に貯留します。これによって、河口の基準点における基本高水のピーク流量100m³/sを80m³/sの流量に低減させ、洪水被害を軽減します。



2. 既得取水の安定供給および河川環境の保全

以布利川のかんがい用水、簡易水道用水の安定供給、ならびに河川環境を保全するための流量を確保します。

計画対象既得用水一覧表

用水名	対象面積	用水量 (m ³ /s)		
		かんがい期		非かんがい期 (8/1~3/9)
		代かき期 (3/10~3/16)	普通期 (3/17~7/31)	
かんがい用水	6.8ha	0.0050	0.0043	0.0037
水道用水	—	—	0.0047	—
水産加工用水	—	—	0.0040	—
河川維持用水	2.25km ²	—	0.0180	—
合計	—	0.0317	0.0310	0.0304



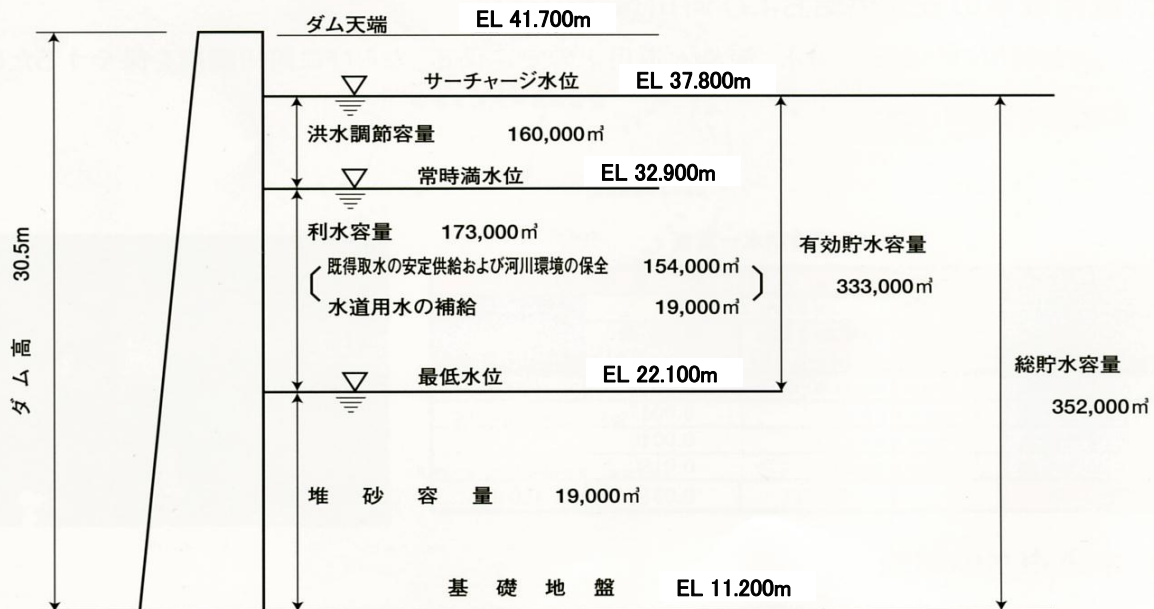
3. 水道用水の補給

土佐清水市に対し、水道用水として新たに400m³/日 (0.0047m³/s)の取水を可能にします。

ダムの諸元

ダ ム		貯 水 池	
河川名	二級河川 以布利川水系 以布利川	集水面積	0.73km ²
ダム位置	高知県土佐清水市広畑	湛水面積	0.04km ² (サーチャージ水位)
型 式	直線重力式コンクリートダム	設計洪水位	EL 40.200m
堤頂標高	EL 41.700m	サーチャージ水位	EL 37.800m
基礎岩盤標高	EL 11.200m	常時満水位	EL 32.900m
堤 高	30.500m	最低水位	EL 22.100m
堤頂長	93.000m	総貯水容量	352,000m ³
堤頂幅	4.000m	有効貯水容量	333,000m ³
堤体積	21,981m ³ (減勢工共)	堆砂容量	19,000m ³
上流面こう配	鉛直	洪水調節容量	160,000m ³
下流面こう配	1:0.75	利水容量	173,000m ³
常用洪水吐き	オリフィス 高0.80m × 幅1.35m × 1門		
非常用洪水吐き	自由越流 高3.45m × 幅7.50m × 1門		
低水放流施設	φ200mm (ジェットフローゲート)		

貯水池容量配分図



航空写真

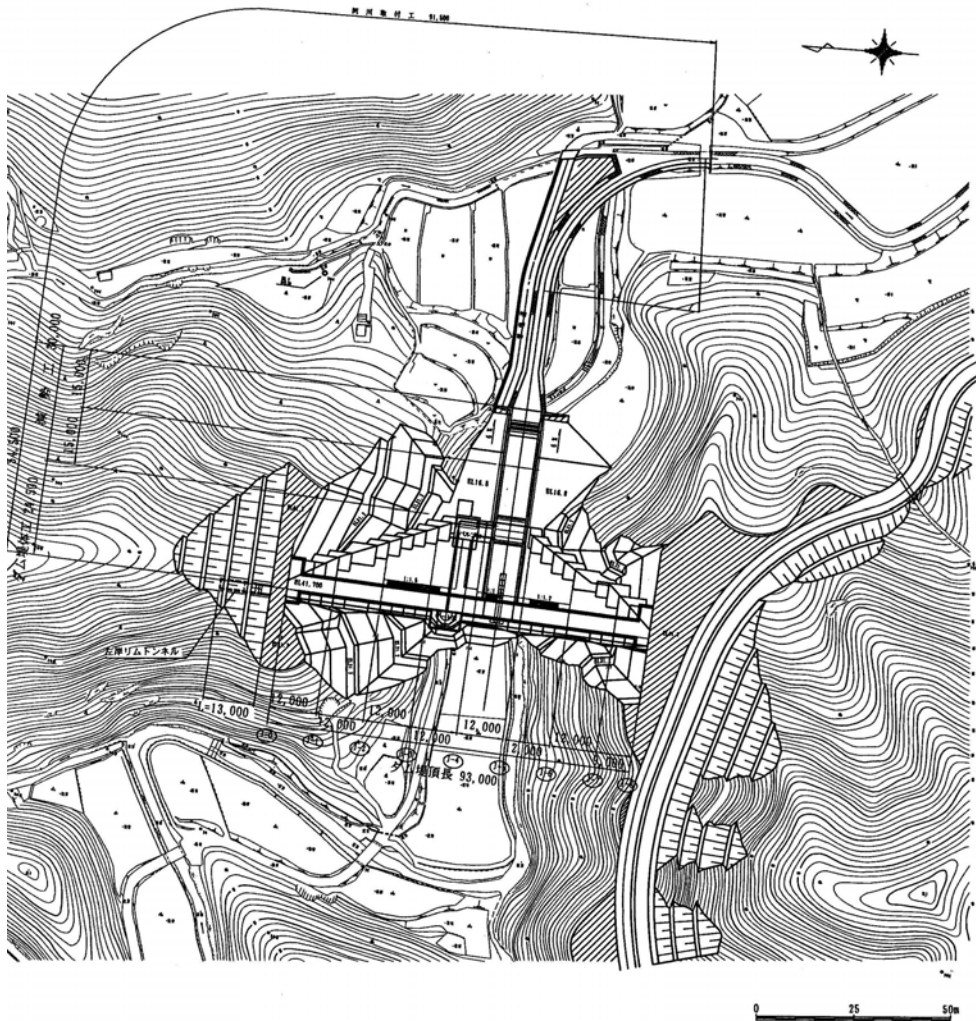


ダムサイト写真



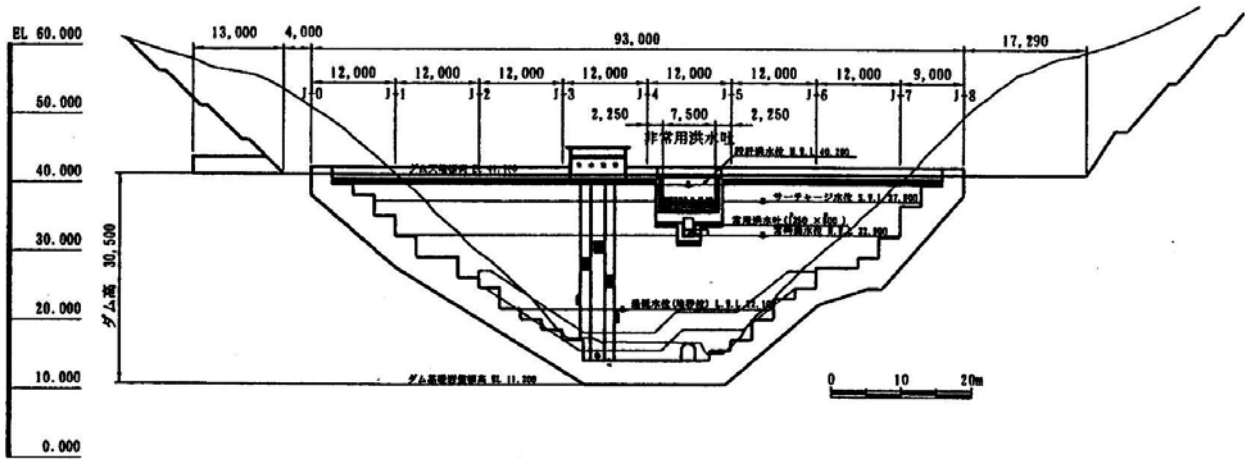
(下流よりのぞむ)

平面図



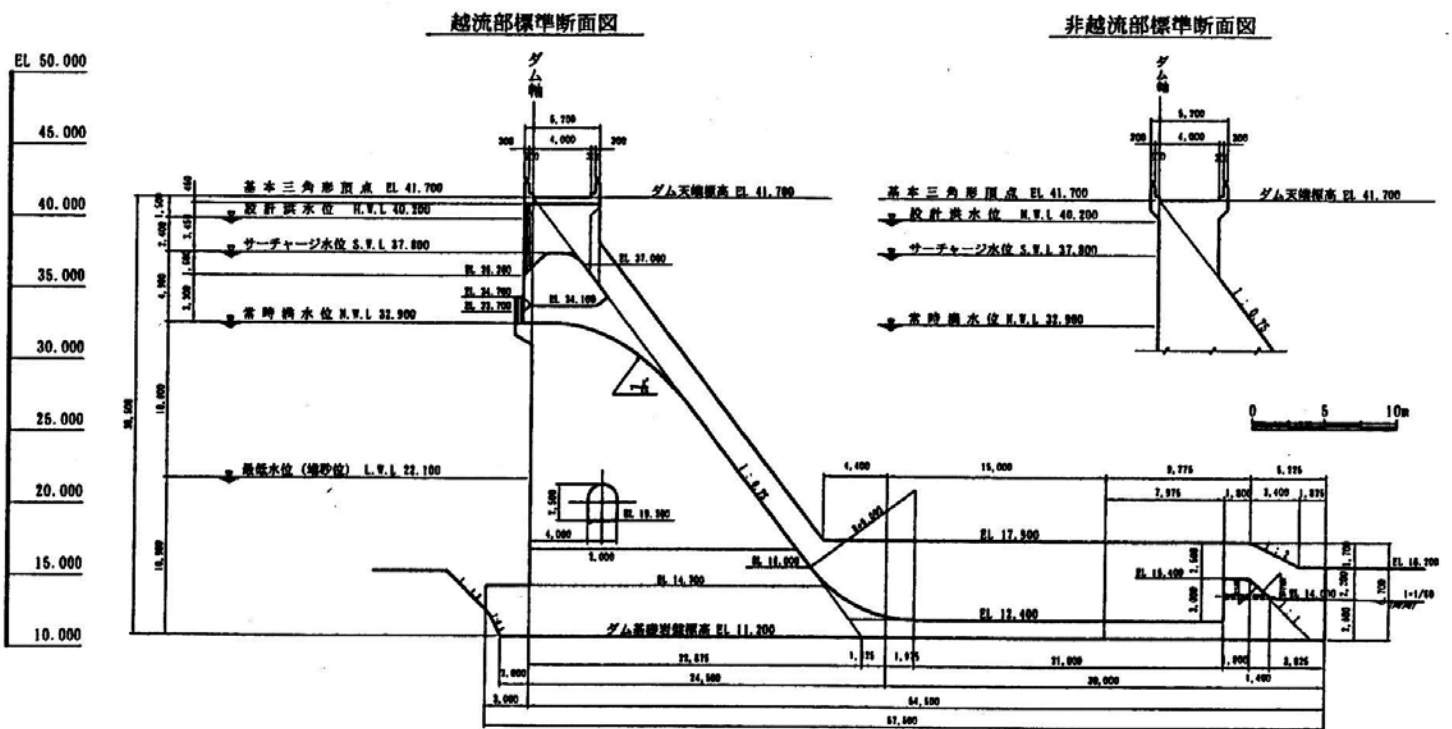
上流面図

ダム上流面図
S=1/1,200



標準断面図

ダム越流部標準断面図
S=1/600



以布利生活貯水池周辺ガイドマップ



足摺海底館



足摺海洋館



サンゴ博物館



金剛福寺



万次郎像



竜串の大竹・小竹



四国最南端 足摺岬

高知県幡多土木事務所 土佐清水事務所

〒787-0333

高知県 土佐清水市 西町 4-5

TEL (0880)82-1232 FAX (0880)82-4188